

奈良県まちづくり推進局 まちづくり推進課
担当 度會、高田
電話 0742-27-5433（直通）内線64132・64140

奈良・町家の芸術祭 HANARART 実行委員会 事務局
担当 北村、高橋
電話 090-9215-6847

「奈良・町家の芸術祭はならあと 2024」

■「はならあと」とは

「奈良・町家の芸術祭はならあと」は、県内の歴史的な町並みや町家で現代芸術の展覧会を開催する地域型アートプロジェクトです。2011年からスタートし今年で14年目を迎えます。「はならあと」は、奈良県の豊かな文化や暮らしを過去から未来に繋いでいます。

<公式WEBサイト><https://hanarart.jp/>

■「奈良・町家の芸術祭はならあと 2024」の特徴

- 今年度のはならあとは、橿原・今井エリア、吉野町三茶屋・殿川エリア、天川村西部エリア（新規エリア）、奈良市田原エリア（新規エリア）の4エリアで開催します。
- 昨年度に引き続き、環境問題をテーマとした「地球にやさしいエコロジカルな芸術祭」を開催します。
- はならあとを広く知ってもらうためのイベント「はならあとmeeting」を9月から10月中旬にかけて開催し、奈良市内を中心にトークイベントやサステナブル講座、マルシェ、映画上映会等を開催します。

「奈良・町家の芸術祭はならあと 2024」 開催概要

【橿原・今井エリア】

日時：2024年10月23日（水）～27日（日）
10:00-16:00

【吉野町三茶屋・殿川エリア】

日時：2024年11月16日（土）～17日（日）
10:00-16:00

【天川村西部エリア】

日時：2024年11月 2日（土）～ 4日（月）
10:00-16:00

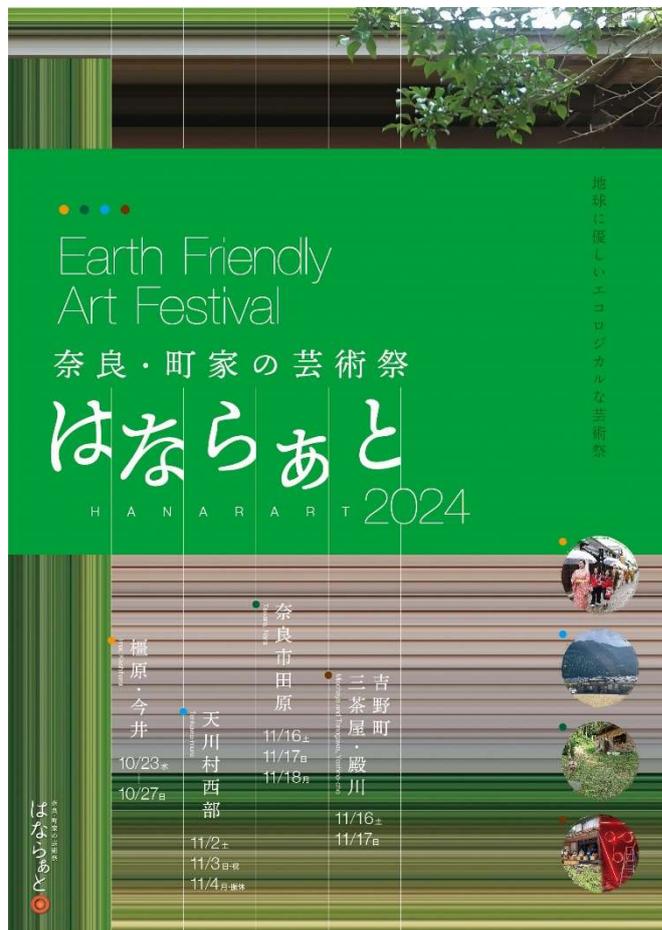
【奈良市田原エリア】

日時：2024年11月16日（土）～18日（月）
10:00-16:00

イベント「はならあとmeeting」 開催概要

【奈良市内各所など】

日程：2024年9月1日（日）～10月16日（水）
※各会場により期間は異なる



はならあと2024メインビジュアル

主催：奈良・町家の芸術祭HANARART実行委員会
共催：奈良県

開催エリアの展覧会詳細

【檀原・今井エリア】

展覧会「日本一の重伝建の町家群が新たな一步を！」

地域とゆかりのあるアーティストによる展覧会を歴史ある町並み、檀原市今井町の古民家や公共空間などで開催。

- 日時：2024年10月23日（水）～27日（日）10:00-16:00
- 会場：阿伽陀屋若林亭、今井景観支援センター、今井まちや館、旧北町生活広場、旧米谷家、中町筋生活広場
- 出展作家：坂野真子、藤田千代 他
- インフォメーション：阿伽陀屋若林亭（檀原市今井町4-11-26）



檀原・今井エリアの風景（撮影：長谷川朋也）



檀原・今井エリアの昨年の展示（撮影：長谷川朋也）

【吉野町三茶屋・殿川エリア】

展覧会「往来 / オーライ / Allright」

薬の神を祀る祠を守りつづける三茶屋の記憶を辿り、殿川はかつての道のあとをたどり、あらたに切り拓く世界を知覚する。

- 日時：2024年11月16日（土）～17日（日）10:00-16:00
- 会場：jiwajiwana、おうち、トノカツオフィス、Mrs.triangle、間光-mavie-
- 出展作家：生駒敦、水内義人、ユージン・ソレル、吉村寿代、松本梓
- インフォメーション：jiwajiwana、おうち（吉野町三茶屋291-1）、トノカツオフィス（吉野町小名1401）
- 地域連携企画：第4回 jiwajiwana、文化祭
＜会場＞jiwajiwana、おうち



吉野町三茶屋エリアの昨年の展示風景



吉野町殿川エリアの昨年の展示風景

【天川村西部エリア】

展覧会「日本はじまりの地、天川を知る」

新規エリアの天川村西部エリアでは、地元で息づく信仰と祈りの世界に共鳴した展覧会を開催します。

- 日時：2024年11月2日（土）～4日（月）10:00-16:00
- 会場：てんかわ天和の里 他
- 出展作家：浦麻里子、だいさく、堂本寛恵、円空学会、藤田澄雄
- インフォメーション：てんかわ天和の里（天川村和田477）
- イベント：仏師・堂本寛恵氏による「圓空上人仏」の公開制作
- 地域連携企画：「すずかけの道」保存会によるすずかけの道再耕ワークショップ
マルシェ（飲食、雑貨、ヒーリング等）



てんかわ天和の里（外観）



出展作家 浦麻里子の作品

【奈良市田原エリア】

展覧会「cha茶chaアートカーニバル」

新規エリアの奈良市田原エリアでは、1000坪のお茶畑の中にある小さな小屋を中心にアートと大和茶の新しいコミュニティを提案します。

- 日時：2024年11月16日（土）～18日（月）10:00-16:00
 - 会場：あおのいえ、ゆいのいえ、遊茶庵
 - 出展作家：おとたまり（岩田茉莉江）、植田陽貴、suzani、sorahana、ユージン・ソレール 他
 - インフォメーション：田原やま里市場（奈良市茗荷町774-1）
 - ワークショップ：おとたまり（岩田茉莉江）によるワークショップ
 - 地域連携企画：お茶を使ったフードマルシェ、アート作品の展示、クラフトマーケット 他
- <会場> 田原やま里市場、古民家レンタルスペース三角^{みかど}、ART&CAFE水仙月、ギャラリーファブリル 他



ゆいのいえ



出展作家 suzaniの作品

プレイベント「はならあとmeeting」 詳細

「はならあとmeeting」は、はならあとを広く知っていただき、10月23日から始まる本祭「奈良・町家の芸術祭はならあと2024」に足を運んでいただくために行うプレイベントです。

奈良県立美術館でははならあと14年の歴史を伝えるトークイベントや、今年度の各エリアの展示会を紹介するパネル展、“サステナブル”がテーマのマルシェや講座、映画上映会などを開催します。さらに、奈良市内のアートスペースをめぐるスタンプラリーも実施。

以下の8つの企画により、奈良でまち歩きをしながらアートや歴史的な町並みに触れ、「はならあと」について知っていただきます。（会期中の問合せ先：奈良・町家の芸術祭 HANARART 実行委員会 事務局 電話090-9215-6847）

企画1 奈良市内のアートスペースを巡るスタンプラリー

奈良市内10か所のギャラリーが参加。

4カ所以上スタンプを集めた方には「はならあとグッズ」をプレゼントします。



昨年のトークイベントの様子

企画2 トークイベント はならあと14年間～これまでとこれから～

○日時：9月28日（土）13:30-16:00

○登壇ゲスト：野村ヨシノリ、甲賀晶子、奈良県内のまちづくり団体 他
＜会場＞奈良県立美術館1Fレクチャーホール

企画3 「はならあとmeeting特別展」はならあと13年間の歩みと今年度開催エリア紹介

○日程・会場1：9月14日（土）～10月14日（月）／奈良県立美術館

○日程・会場2：9月14日（土）～10月6日（日）／奈良市ならまちセンター

○日程・会場3：9月10日（火）～9月23日（月）／奈良県立図書情報館



昨年のサステナブル講座の様子

企画4 環境問題を考えるサステナブル講座

○講座1「コラージュで未来年表づくり」9月7日（土）13:00-15:00

○講座2「絵手紙を描こう」9月14日（土）10:00-11:30

○講座3「ASHIHAMA BEACH」9月14日（土）13:00-15:00

○講座4「ウェルビーイングは地元から ～やまと薬膳の提案～」9月14日（土）13:30-15:00

○講座5「国産材推進協会が提案するタイプ別収納法」9月15日（日）13:00-15:00

○講座6「漆を使った生活の提案」10月5日（土）10:00-12:00

○講座7「コンポストの土で寄せ植えをしよう」10月5日（土）13:00-15:00

○講座8「野の花を使った生け花」10月6日（日）13:00-15:00

＜会場＞講座1：奈良町にぎわいの家離れ、講座2～3, 5：奈良市ならまちセンター3階会議室
講座4：葛城市歴史博物館あかねホール、講座6, 8：貸町家「木屋・KIYA」
講座7：田原やま里市場

企画5 環境問題を考えるはならあとシネマ

○作品1「決断」9月15日（日）10:00-12:00

○作品2「夢みる給食」9月29日（日）10:00-11:30

○作品3「食を守る人々」10月12日（土）10:00-12:00

＜会場＞作品1：インタースペースラボ、作品2：葛城市歴史博物館あかねホール
作品3：貸町家「木屋・KIYA」



昨年のマルシェの様子

企画6 地球にやさしいはならあとエコマルシェ

○日時：9月14日（土）～15日（日）10:00-15:00

＜会場・インフォメーション＞奈良市ならまちセンター芝生広場

企画7 14年の歴史を振り返るはならあとポスター展

○日時：9月1日（日）～9日（月）9:00-17:00

＜会場＞奈良町にぎわいの家



昨年のポスター展の様子

企画8 今年度開催エリアのプレイベント

○天川村西部エリア：映画上映「Pale Blue Dot 君が微笑めば、」9月1日（日）＜会場＞てんかわ天和の里

○奈良市田原エリア：「2024 収穫感謝祭 大和茶と新米を味わおう～！」10月6日（日）＜会場＞田原やま里市場

＜各企画についての詳細は、はならあと公式WEBサイトをご確認ください＞

「奈良・町家の芸術祭はならあと」とは

「奈良・町家の芸術祭はならあと」は、県内の歴史的な町並みや町家で、現代芸術の展示会を開催する地域型アートプロジェクトです。2011年からスタートし、今年で14回目を迎えます。

「はならあと」は、「町並みの保存や町家の利活用の促進」、「現代芸術を通じた新たな地域の価値の創出」、「地元まちづくり団体の運営による地域力の向上」、「住民の町に対する誇りや愛着の醸成」などの目標を掲げ、奈良県の豊かな文化や暮らしを過去から未来に繋いでいます。

これまでの13年間の開催を通じて、会場となった空き町家のうち、計46件が店舗や住居として利活用されました。また、地域に新しいまちづくり団体が生まれたり、既存の団体に若手メンバーが加入するなど、様々な効果が生まれています。

◆主催団体

奈良・町家の芸術祭HANARART実行委員会

(県内各まちづくり団体の代表者、アーティスト、開催市町村および奈良県により構成)

◆過去開催エリア数 (2011～2023年)

13市町村、22地域

奈良市(ならまち・きたまち・柳生)、大和郡山市、天理市、橿原市(今井・八木)、桜井市(三輪・桜井本町・初瀬・戒重)、五條市、御所市(御所まち・名柄)、生駒市、宇陀市、田原本町、曽爾村、高取町、吉野町(国栖・大和上市・三茶屋・殿川)

◆来場者数・参加作家数 (2011年～2023年)

来場者数：約42万400人、のべ参加作家数：939組

◆空き町家利活用実績 (2011年～2023年)

会場となった空き町家のうち計46件

